

Matsuo International Fashion Magazine

Noriem

#43

880円

本体800円

ノリエム

Issue No 43
2021 SPRING

PERSON
柄本佑



変わりゆく時代の中で自分の価値観を持ち、
書き続ける編集部注目の「人」にフォーカス

PERSON

柄本佑 さん

—Tasuku Emoto—

Photo:Hiroyumi Miyata
Styling:Michio Hayashi
Hair & make-up:Kanako Hoshino
Interview & text:Saki Komura



「高橋伴明監督作品と聞いて 秒で“やる!!”と答えました」

秒で“やる!!”と答えました

映画 『痛くない死に方』 主演の柄本佑さんが 本誌初登場!!



兵庫・尼崎でクリーネックと在宅医療を運営する医師・長尾和宏さんの書籍「痛くない死に方」「痛い在宅医」を元にした映画『痛くない死に方』が、2021年2月20日に東京・シネスイッチ銀座ほか全国で順次公開されます。

診断ミスで末期の肺がん患者・井上敏夫を苦しませた末に死なせてしまった在宅医・河田仁が、約2年の歳月を経て新たに末期の肺がん患者である本多彰を担当することに。本多の妻しぐれと共に「痛くない死に方」を実践する姿を描いた作品です。

本作で主人公・河田仁役を務める柄本佑さんに作品の話そしてプライベートの

話など伺つきました。

——まずは本作のオファーが来た時の気持ちを、そして台本を読まれた時の感想をお聞かせください。

——「オファーが来た時はもう二つ返事で、内容が何でない死に方」を実践する姿を描いた作品でした。

——高橋伴明監督であること、それ一択でした。高橋監督（以下、伴明さん）の作品に、しかも主役で、いちばん近くにいる立場で参加できるなんてこんな幸運はない。いち映画ファンとしても役者

ではありませんが、決してリアルさだけを求めていた訳ではなく、「映画というジャンルであり【お話を】としてシンプルに面白くできているん

です。いろいろな人々の亡くなり方、例えば一番最初に亡くなる井上敏夫さんの場面は、それこそうちが目を覆いたくなるくらい痛烈に撮っているし、それは台本にも書かれているんです

が、取材から生まれたドキュメントだけではなく、しっかりフィクションとなっている……そんな骨太を感じました」

——主人公の河田役を演じるにあたり、特に大事にしたいと思った事は?

「最初に原作者の長尾和宏先生の病院に行つて話を伺つたんです。長尾先生は一日に15～20件くらい在宅ケアで回られていましたが、それに見学という形で同行しているんですが、それに見学という形で同行した事もありました。その経験を映画の中に取り入れました。長尾先生に聞いたところ、今は半そでに短パン姿で聴診器を持って顔を出す、近所のおっちゃんみたいな姿で患者さんの元を訪れるんです。そんな姿をしている理由を伺うと、在宅医療の先生は患者さんの家に足を踏み入れる訳ですが、その時に白衣を着ていりする」と。在宅で安心していられる環境に異物を入れる事になると。長尾先生は

そうではなく近所の先生が「こんちはー、どう、調子は?」みたいな感覚で行きたいとおっしゃっていたんです。だから映画の中でも2年前の場面では白衣を着てきっちりとした髪型で、井上さんの死後、河田が原作の長尾さんをモデルにした在宅医の先輩長野先生の元で学んだ(後半は今)の長尾さんのスタイルを取り入れたんです。眼鏡もそうです。あれは私物だったんですね。眼鏡もそうです。あれは私物だったんですけどいい感じに冷たい感じが出ているなと思っていて。衣装合わせでは、伴明さんが、佑、眼鏡なくてもいいよね?とおっしゃつたんですけど、眼鏡も前だけかけてみようといつか手持ちの眼鏡を写真で監督に送つたら、「いいよいよつておっしゃつてくださったのでこうなりました(笑)」。こういうと自分一人で考えたという感に取られがちですが、それ以前に伴明さんがそう考えるように本の段階から演出が施されていた気がします。【結果】に至るまでの

「行程」が大事だよって事を伴明さんは各々が考える場所を本の段階でも、また現場でも作つてください。実際こんなに面白い作品であればこつとも考えたくなりますから





——伴明さんが、考えさせた、とおっしゃっていませんが、逆に伴明さんから「こうしてほしい」って直接言われた事は何がありますか?

「ほんとと言われなかつたです。【ここ】を【くらい】でした。段取りをやつている際に【くらい】でした。

「監督、少しスピードを緩めてください」とお願いしていました(笑)。ただ急いでいるという感はなく、スムーズに進んでいた佑、今こう言ったけど、台本はこうだから。本当にそのくらいでした。だから撮影もめちゃくちゃ速かったです。これ10日間で撮っているんですよ!!でもまさか10日間で撮ったとは思えないくらいの厚みがあるんです。しかも1日に17、18シーンとかを朝の8時から午後3時くらいまで撮り切つて。まだ時間があるから明日の分も撮るか。同じ場所だし、つてさらに撮影を続けて……これが初日ですからね(笑)。

——そこからは柄本さんのパーソナルなところを伺いたいと思います。そもそも俳優をして志したきっかけは?

「元々映画が好きで映画監督にあこがれて、いつか映画を作る側の仕事がしたいという夢を小学生の時から持っていたんです。母(角替和枝さん)のマネージャーが既に適切な位置に配置されているし、台詞が正確に出されすれば大丈夫という状態でしたね。あでもひとつだけ言われたいことがあります。佑、今の場面なんだこれが佑に合うと思つんだよね、って薦めてくれたのがきっかけでした。次の写真選考を通じて監督面接となつた時に、親父(柄本明さん)に、これ、どうしよう、と相

談したら、どちらでもいいけど、つて(笑)。母ちゃんに言われたのは、どうせ落ちるとは思うけど、ダメ元でいけば映画監督が生で見れるよ!!あんた、映画好きでしょ?って言わされました。僕も『キリシマ』の黒木和雄監督が手掛けた『竜馬暗殺』や『祭り』も撮影部も照明部もどこかで学ばないと現場に入れないと知り、

「だつたら役者ならすぐ入れるんじゃないかな……」つて(笑)。とにかく役者さんにに行つたんです。たまたまイメージに合つたのか、その映画をやらせてもらえる事になりました。『キリシマ』の撮影は2ヶ月、宮崎県えびの市で過ごしていたんですが途中でホームシックになつて泣いたりしていたんです。14歳で2ヶ月親元を離れて周りは自分より2回りくらい上の大人たちばかり。それで心細くなつて泣いてたんです

が、撮影が終わつて普通の学校生活に戻つた時、つまらなさを感じて。とにかく今すぐモーブクリの現場に戻りたい!!では何だつたら戻れるかと考えたんですが、録音部も撮影部も照明部もどの部署もどこかで学ばないと現場に入れないと知り、

「だつたら役者ならすぐ入れるんじゃないかな……」つて(笑)。とにかく役者さんに残りたいというよりはあの映画を作る現場の員になりたい、という気持ちで今もここにいます。『キリシマ』は、今も一番印象に残つてゐる作品であり、最初にやつたシーンもその時自分がどう感じていたか、最後の場面の台詞も未だに覚えています

PERSON

——先ほど衣装を着て撮影されていましたが、普段の柄本さんのファッションのことわりは?

【気安い】服がいいですね。【着やすい】ではなくて自分が着ていて気安いくれら服が好きです。あと、カバンと靴は目に入りますね。なるべく買わないようにしていきます。そのリュックも大きくなりたいが好きです。性格的にサイズが大きいとスペースを埋めなくなるんです。正直な話子ども用のカバンで十分なんですよ!!でもリアルに子ども用のカバンをかけてみたりマジでヤバい人になつて言われました。でも本音は子ども用カバンをしようと現場に入りたいですね(笑)」

——子ども用カバンをしようとしている柄本さんを見てみたいですね!!(笑)そして柄本さんは解消できるんですが、前のカバンの良さは失われているなあ……。つてなるんです。今はショルダーバッグ(ボディバッグ)が

番氣に入つてこれに携帯電話、i Pad、お財布、カード入れ、領収書を入れています。これひとつ持てば生活はできるし、台本はリュックに入れて現場に行きます。そのリュックも大きくなりたいが好きです。性格的にサイズが大きいとスペースを埋めなくなるんです。正直な話子ども用のカバンで十分なんですよ!!でもリアルに子ども用のカバンをかけてみたりマジでヤバい人になつて言われました。でも本音は子ども用カバンをしようとして現場に入りたいですね(笑)」

「城島さんは庄はないんだけど、リーダーとして君臨できる人間性がいいですね。他のメンバーにも壁を作らず、むしろ他のメンバーにいじられるところも好きですね。俺はリーダーだぞ。つて人ほどリーダーには向いてないと思いますから。城島さんはリーダーとしての責任感をあまり感じさせず、それでいて普通にフラットにたたずんでいて、この人はリーダーなんだ、と感じさせるおおらかさが好きです。男として憧れる、というよりは僕の中の女性的な部分がくすぐられるんです(笑)」



Profile 柄本佑

1986年12月16日生まれ。東京都出身。2001年、映画『美しい夏キリシマ』(2003年/黒木和雄監督)で主演デビュー。その後の映画主演作に、「17歳の風景~少年は何を見たのか」(2005年/若松孝二監督)、「フィギュアなあなた」(2013年/石井隆監督)、「素敵なダイナマイトスキャンダル」(雷永昌敬監督)、「ポルトの恋人たち~時の記憶~」(船橋淳監督)、「きみの鳥はうたえる」(三宅唱監督)(3作品ともに2018年、主演男優賞多数受賞)、「火口のふたり」(2019年/荒井晴彦監督)、TV主演作に正月時代劇「家康、江戸を建てる~金貨の町~」(2019年/NHK)など。また、近年ではTVドラマ「知らないいいコト」(2020年/NTV)、また、映画化された「心の傷を癒すということ」(2020年/NHK)、ほか日曜劇場「天国と地獄~サイコな2人~」(2021年/TBS)が1月より放送される。



©「痛くない死に方」製作委員会

こぼれ話

撮影中に「腰が痛い……」と突然つぶやく柄本さん。聞けば先日お子さんとジャングルジムで遊んだ時に腰を打ったとのこと。ちょっとした言葉にご家族の雰囲気が垣間見えてほっこりしました!!

【作品概要】

- タイトル 『痛くない死に方』
- 監督・脚本 高橋伴明
- 原作・医療監修 長尾和宏
- 音楽 吉川忠英
- 出演 柄本佑 坂井真紀 余貴美子 大谷直子 宇崎竜童 奥田瑛二 大西信満 大西礼芳 下元史朗 藤本泉 梅舟惟永 諏訪太朗 田中美奈子 真木順子 亜湖 長尾和宏 田村泰二郎 東山明美 安部智凜 石山雄大 幕雄仁 長澤智子 鈴木秀人
- 上映時間 112分
- 配給 渋谷プロダクション
- 公式ホームページ <https://itakunaishinikata.com/>

2021年2月20日(土)からシネスイッチ銀座ほか全国で順次公開